



TOKYO 2020

大会延期に伴う契約変更等対応

(東京2020大会 会場内のサインの製作・設置・維持・撤去等に係る業務委託)

大会運営局 会場サービス部 サイネージ課

2020年12月

原契約概要

■ 契約件名

東京2020 会場内のサインの製作・設置・維持・撤去に係る業務委託

受託者 : ノムラプロダクツ・凸版印刷コンソーシアム

契約の種類 : 特別契約

契約金額 : V5 予算の範囲内

契約期間 : 2020年3月～2021年11月

数量 : 60 種 / 265,583 点

対象サイト : オリンピック42会場、パラリンピック22会場

選手村,公式空港,UAC,IBC/MPC,OFH/PFH, 練習会場 他

※ 10月14日開催の第72回東京都作業部会に付議した、サイン保管倉庫に係る覚書については現在手続き中

実施内容

【20年4月～8月】 中断作業と維持体制の確立

- ①各協力会社へのコンテンツ制作中断指示
- ②中間データの保管ルール整備、確認
- ③SIG FAとの定例会議による動向の情報共有

内容：延期に伴う表示面のコンテンツ制作の中断指示、及び作業再開時に向けたデータ整理・保存ルール設定。競技会場、非競技会場あわせて160を越える会場の膨大な図面資料、コンテンツ指示資料を再開時にも混乱なく使用できるよう協力会社と連携、共有サーバーにルール化した上で保管。
また、SIG FAとは月定期会議をメンバー限定で実施し、業務再開の時期、見通しの情報共有を実施。

【20年9月～11月】 業務再開への準備

- ④サイン中間部材の保管倉庫の移転計画
- ⑤新規倉庫の調査、確保・契約～部材移転
- ⑥21年の大会に向けた全体スケジュール調整、人員・製造ライン再確保

内容：中間部材で保管する事になったサイン倉庫が10月末で契約期限をむかえるため移転計画を検討。
新規倉庫を確保し部材移転を実施。
10月以降は21年の大会を見据えたスケジュールに基づく製造ライン、施工人員の再確保を行う。

実施内容

【20年12月～21年3月】本格業務の再開

⑦会場計画の変更、大会簡素化に伴うコスト圧縮策を踏まえたサイン計画の再検討（詳細設計業務）

内容：会場運営計画 ver.5.0→6.0への更新に伴う配置計画の見直しを行う。また、大会簡素化に伴い会場名表示サイン（シンボリックサイン）やサイン照明について、それぞれ仕様・構造を見直すことでコスト圧縮の検討を実施する。

⑧サイン計画の追加、変更検討を行うための各会場の現地調査業務

内容：会場計画の変更の影響やサイン照明等も必要最低限の数に絞るために現地での調査業務を行う。

⑨追加、変更となったサイン計画を反映したコンテンツ・リスト、及びプロット図のデータ制作業務

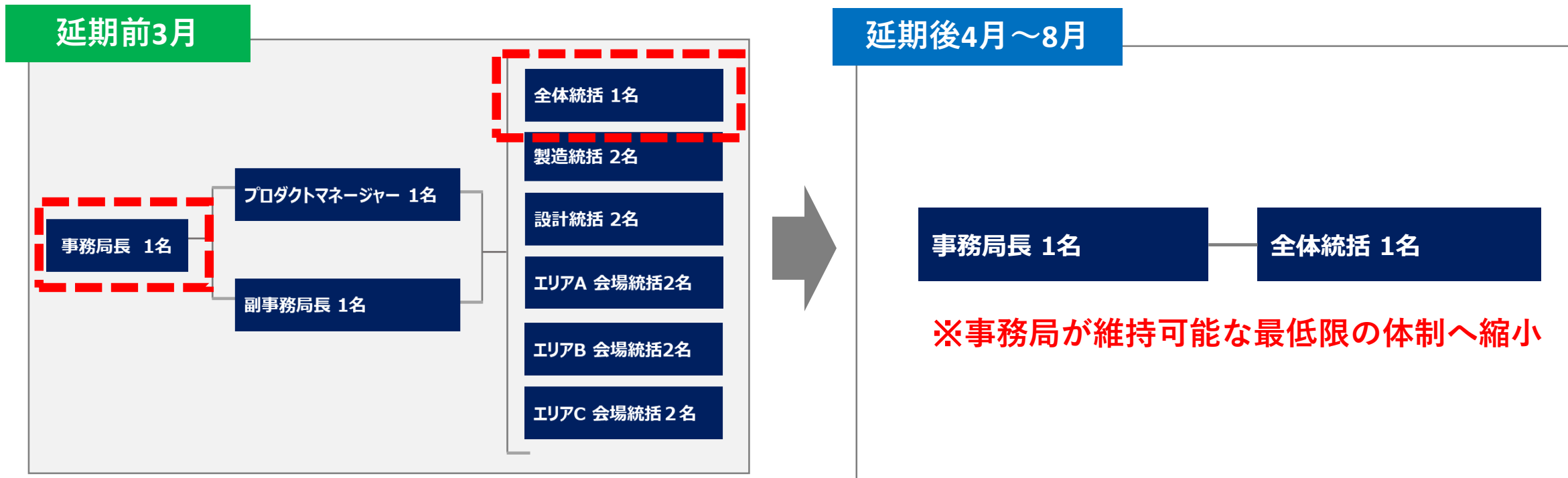
内容：今回、追加、変更となったサイン仕様とサインに表記するコンテンツを記載した会場別のコンテンツ・リスト、及び、サイン配置を示したプロット図（配置図）の各データ制作業務

⑩仕様設計、現地調査、リスト・プロット図制作を行う各チームの統括管理

内容：12月～3月までの限られた期間に設計要員を集中して投下。JV事務局メンバーにて各設計チームの進行調整を含めた統括管理業務を行い、各会場の統括担当が会場計画に適切に反映する。

業務体制①

【20年4月～8月】 中断作業と維持体制の確立



【概要】 中断作業と維持体制の確立のため、JV事務局長と全体統括の最低人数にて運営、経費を大幅に圧縮

- ①各協力会社へのコンテンツ制作中断指示
- ②中間データの保管ルール整備、確認
- ③SIG FAとの定例会議による動向の情報共有

業務体制② 【20年9月～11月】業務再開への準備

延期後9月～11月

事務局長 1名

副事務局長 1名
(11月～)

全体統括 1名

製造統括 2名
(9月～)

設計統括 2名
(10月～)

エリアA 会場統括1名
(11月～)

エリアB 会場統括1名
(11月～)

エリアC 会場統括 2名
(11月～)

※時期に応じた調整を加える事で
適切な人員体制にて業務実施

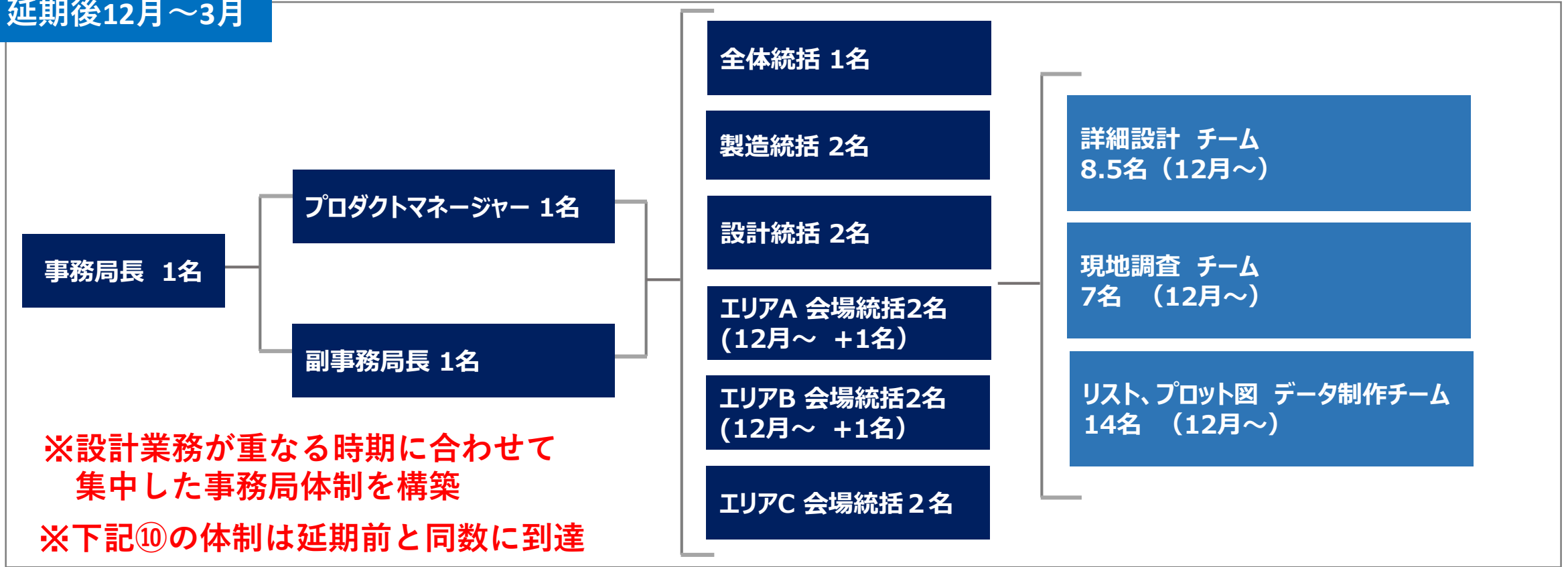
【概要】業務再開に向けて9月から体制を徐々に充実。11月には延期前の約8割程度的人员に戻す

- ④サイン中間部材の保管倉庫の移転計画
- ⑤新規倉庫の調査、確保・契約～部材移転
- ⑥21年の大会に向けた全体スケジュール調整、人員・製造ライン再確保

業務体制③

【20年12月～21年3月】 本格業務の再開

延期後12月～3月



【概要】仕様設計他、担当チームを加えて業務本格化

- ⑦会場計画の変更、大会簡素化に伴うコスト圧縮策を踏まえたサイン計画の再検討（詳細設計業務）
- ⑧サイン計画の追加、変更検討を行うための各会場の現地調査業務
- ⑨追加、変更となったサイン計画を反映したコンテンツ・リスト、及びプロット図のデータ制作業務
- ⑩仕様設計、現地調査、リスト、プロット図制作を行う各チームの統括管理

業務内容と人工推移

業務内容	2020年					2021年							
	中断作業と維持体制の確立					業務再開への準備			集中した設計業務				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
①各協力会社へのコンテンツ制作中断指示													
②中間データの保管ルール整備、確認	2	2	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	
③SIG FAとの定例会議による動向の情報共有													
④サイン中間部材の保管倉庫の移転計画													
⑤新規倉庫の調査、確保・契約～部材移転	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	
⑥21年の大会に向けた全体スケジュール調整、 人員・製造ライン再確保	0	0	0	0	0	1	2	11	0	0	0	0	
⑦会場計画の変更、大会簡素化に伴うコスト圧縮策を 踏まえたサイン計画の再検討（詳細設計業務）	0	0	0	0	0	0	0	0	8.5	8.5	8.5	8.5	
⑧サイン計画の追加、変更検討を行うための各会場の 現地調査業務	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	7	7	
⑨追加、変更となったサイン計画を反映したコンテンツ リスト、及びプロット図のデータ制作業務	0	0	0	0	0	0	0	0	14	14	14	14	
⑩仕様設計、現地調査、リスト、プロット図制作を 行う各チームの統括管理	0	0	0	0	0	0	0	0	14	14	14	14	
人数合計	2	2	2	2	2	4	6	11	43.5	43.5	43.5	43.5	

【人工推移イメージ】

